

中間評価報告書

令和7年10月2日（木）

研究種別	総理研課題	
研究課題名	マルチモーダル観測を用いた侵略的外来種のモニタリングシステムの開発	
研究期間	令和6年度～令和8年度	
評価項目		平均点
1 研究計画の進捗度及び今後の研究計画の妥当性		3.6

[評価所見]

- 本研究は概ね計画どおりに進捗している。これまでに必要なデータの収集や解析が着実に進められており、目標達成に向けた進展が期待される。
- ソフトウェア開発やデータブック作成に関する見通しが示され、研究目標が達成できる見込となっており、本システムが確立されれば、他分野への応用が期待できる。
- 人工衛星解析と市民・自動車による検出の統合化を進めるため、広域的な地域連携により、早急に実現化を期待する。
- 成果を明確にするため、対象とする外来種を適切に絞り込み、モニタリングシステムの開発を中心に据えた研究の推進が望まれる。
- 外来種のタイプに応じた手法の整理や、収集データの品質検証を適切に実施することが必要であり、本システムの限界や適用範囲を明確にすることも求められる。
- 本研究の成果により侵略的外来種の実態を広く社会に発信することを期待する。